

## 県民アンケートから見る沖縄の現状

1 赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる



約 **29%**

2 廃棄物の適正処理、減量化・リサイクルが活発に行われている



約 **35%**

3 食品ロス問題を認知し削減に取り組む県民の割合



約 **80%**

出典 第12回県民意識調査（くらしについてのアンケート）結果



第12回県民意識調査（くらしについてのアンケート）結果



沖縄県食品ロス削減推進計画（令和4年3月）



## よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 地域の自然環境や生物多様性について学ぼう



2 白色トレイや牛乳パックなどの店頭回収の取組に参加しよう



3 食品ロスをへらす3つのコツ「買すぎない」「使いきる」「食べきる」を始めてみよう



## あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

あなたの一本を、  
未来の資源に

株式会社セブン-イレブン・沖縄

くわしくは  
こちら



飲み終わったボトルを、セブン-イレブンの回収機へ！その行動が、ペットボトルを新しい資源に変え、沖縄の海や自然を守ります。何度も生まれ変わる「ボトルtoボトル」で、未来のためのリサイクルを始めよう！

おいしく食べて、  
社会貢献しよう

食品ロス削減ショップ  
ecoat(エコイト)

くわしくは  
こちら



おいしく食べて、だれかの役に立とう！「エコイト」は、まだ食べられるのに捨てられそうな食品を救い、困っている人を助けるお店です。買い物をするのが、だれかのささえになります。みんなが笑顔の沖縄をつくろう！

## 03 優先課題で見る沖縄

### 優先課題

# 8

基地から起きる問題を解決し、  
沖縄から世界平和に貢献・発信する



## くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
アメリカ軍基地に関係する事件・事故の数	148件 (2021)	149件 (2024)	可能な限り 減少させる (2031)	→ 数が少ないほど 良いんだよ！
飛行機の騒音から、人の生活や健康を守るための目標を達成している割合	65.0% (2021)	66.0% (2024)	82.0% (2031)	→
平和祈念資料館による平和講話(戦争体験などのお話)をした学校数	61校 (2021)	101校 (2024)	150校 (2031)	↗
平和のためにボランティア活動などをす る、人やグループの数	12団体 (2021)	24団体 (2025)	42団体 (2031)	↗

## 表から見えてくる、沖縄の現在地

### 基地から起きる問題の解決

基地に関する事件や事故はふえており、不安を感じる県民も多くなります。この問題を解決するには、現状を正しく理解し、みんなで意見を出し合って、国や行政に声を届けていくことが、未来をつくる大きな一歩になります。

### 平和の思いをつなぎ、世界へ広げる沖縄

沖縄は激しい地上戦で、多くの命や自然を失いました。この悲しみを繰り返さないよう、平和学習で学んだことを語り継ぎましょう。平和を願う「沖縄のこころ」を世界へ発信することが、地球の平和を築く大きな力になります。

## 県民アンケートから見る沖縄の現状

1 米軍基地から派生する諸問題への対策が講じられている



約 **15%**

2 平和を願う沖縄の心が次世代に継承され、世界に発信されている



約 **36%**

3 平和や戦争について普段考えたり、話す時間がある



約 **56%**

出典 第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果



令和6年度沖縄平和プロモーション事業「うむい つたえる・つなげる・のこす」報告書

## よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 沖縄とアメリカ軍基地の歴史的背景を調べてみよう



2 県内の平和・人権に関する博物館や資料館に行ってみよう



3 学校や地域のできる「ピースアクション」を考えよう



## あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

学び、感じる。  
沖縄の自然と平和の尊さ

NPO法人自然体験学校

くわしくは  
こちら



沖縄の豊かな自然と、戦跡「ガマ」に残る歴史。その両方にくれて、命の尊さや平和の大切さを学びませんか？ガイドさんからお話を聞き、心で感じることで、未来を平和にするための大切な一歩になります。

命を見つめ、  
平和を深く考える場所

沖縄県平和祈念資料館

くわしくは  
こちら



「平和を希求する沖縄のこころ」を伝える、沖縄県平和祈念資料館。沖縄戦の歴史的教訓を学び、戦後まで通じる沖縄県民の苦悩の歴史から、真の平和やわたしたちの未来について考えてみませんか？

## 03 優先課題で見る沖縄

### 優先課題

# 9

## みんなで助け合ってつくる、安全・安心な社会



### くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
交通人身事故のうち、お酒を飲んで運転したことが原因の割合	1.8% (2021)	2.49% (2025年10月 末)	0.9% (2030)	↓
夫や妻からのDV(暴力や暴言など)の相談件数	2,563件 (2021)	1,967件 (2024)	2,550件 (2031)	↓
親から子どもへの虐待(暴力や暴言など)の相談件数	2,509件 (2021)	3,100件 (2023)	減少へ (2031)	↓
NPOと県が協力した活動の数	473事業 (2021)	567事業 (2024)	820事業 (2031)	↑
「おきなわSDGsプラットフォーム」に登録しているグループの数	407団体 (2021)	1,748団体 (2024)	2,000団体 (2031)	↑

数が少ないほど  
良いんだよ！

数が少ないほど  
良いんだよ！

### 表から見えてくる、沖縄の現在地

#### 安全・安心に暮らせる地域の実現

飲酒運転による事故が増えており、「絶対させない」というみんなの声かけが重要です。日ごろから地域の人とあいさつし、助け合える関係を作りましょう。見守りや訓練を通して、みんなが安心して暮らせる地域をみんなで育てていきましょう。

#### 弱い立場の人を守り、ささえる社会へ

こどもやお年寄り、障がいのある方など、みんなを守る仕組みが大切です。なやみや暴力を相談できる場所がふえ、ささえ合う輪が広がっています。これからも地域や企業が協力し、みんなが安心して相談し、助け合える沖縄をつくりましょう。

#### パートナーシップを通じた、みんなで助け合ってつくる社会の実現

沖縄では、行政や会社が協力して課題を解決する「おきなわSDGsプラットフォーム」の仲間がふえています。一人ではむずかしいことも、みんなで知恵を出せば解決できます。世代をこえてつながり、より良い社会を共につくりましょう。

## 県民アンケートから見る沖縄の現状

1 犯罪におびやかされることなく安心な暮らしが確保されている



約**50%**

2 配偶者からの暴力の防止と被害者の支援環境が充実している



約**28%**

3 住んでいる地域や社会をよくする活動ができる機会が増えている



約**29%**

出典 第12回県民意識調査（暮らしについてのアンケート）結果



第12回県民意識調査（暮らしについてのアンケート）結果



第12回県民意識調査（暮らしについてのアンケート）結果



## よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 地域でのあいさつを大切に、「顔の見える関係」を作ろう



2 困ったときに相談できる窓口を調べてみよう



3 地域の企業や団体、NPOなどの取組を調べ、参加してみよう



## あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

子ども地域安全マップコンテストにおうぼしてみよう

沖縄県 生活安全安心課

くわしくは  
こちら



自分たちの手で「あぶない場所」を見極める力をつけよう！地域を歩いて見つけた発見を地図にまとめ、コンテストに挑戦しませんか？みんなのアイデアが地域を救い、自分を守る力になります。

ひとりで抱えこまず、  
話してみませんか

公益財団法人おきなわ女性財団

くわしくは  
こちら



一人でなやまず、少しだけお話ししてみませんか。「ていりる相談室」は、だれでも無料で相談できます。あなたのいろいろなやみを、やさしく聞いてくれます。話すだけで、心は軽くなるはず。気軽に相談してね。

# 優先課題 10 「ユイマール(助け合い)」の心を受け継ぎ、人と地域の「和」を深める



## くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
県内市町村社協へ登録しているボランティアグループの数	709団体 (2021)	803団体 (2024)	830団体 (2027)	➔
災害 <sup>さいがい</sup> が起きたとき、自分たちの地域を守るグループ <sup>ぐりーぷ</sup> がある割合	37.2% (2021)	42.4% (2024)	85.0% (2031)	➔
沖縄の伝統芸能 <sup>でんとうげいゆ</sup> (組踊・エイサーなど)のイベントの参加者数	4,750人 (2021)	308,940人 (2024)	408,000人 (2031)	➔

## 表から見えてくる、沖縄の現在地

### みんなで地域をささえ合う社会づくり

地域のボランティアや、自主防災組織<sup>じしゆぼうさいしそく</sup>(地域の人たちが「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識<sup>いしき</sup>によって自主的に結成するグループ)の活動が広がっています。より良い町にするために、まずは近所で行われている活動を調べてみましょう。自分にできることから参加することが、未来の地域づくりにつながります。

### 伝統行事や文化の次世代<sup>けいしよ</sup>への継承

沖縄にはエイサーやハーリーなど、地域で大切に守られてきた伝統文化がたくさんあります。イベントへの参加者もふえており、注目が集まっています。地域の宝<sup>たから</sup>である伝統を学び、わたしたちも次の世代へ引き継いでいきましょう。

## 県民アンケートから見る沖縄の現状

1 地域の活動や行事が盛ん



約**36%**

2 地域活動へ参加している



約**22%**

3 沖縄文化が保全・継承されている



約**42%**

出典 第12回県民意識調査  
(くらしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査  
(くらしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査  
(くらしについてのアンケート)結果



## よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 地域のボランティア活動を調べ、参加してみよう



2 家族や友人と、防災・防犯イベントに参加してみよう



3 沖縄の歴史や文化に関するイベントに参加・応援してみよう



## あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

あなたの手で、  
漫湖の魅力を広めよう

漫湖水鳥湿地センター

くわくは  
こちら



豊かな自然を、未来へ！生き物の調査やイベントなど、自分のペースで参加できる活動を募集中。こどもから大人まで、漫湖の魅力を広める仲間になりませんか？まずは「漫湖水鳥・湿地センター」へ行ってみよう！

沖縄の伝統文化を  
未来へ、世界へつなぐ

国立劇場おきなわ

くわくは  
こちら



世界に認められた「組踊」と、沖縄が誇る「琉球舞踊」を体験しませんか？国立劇場おきなわでは、伝統芸能の公演や体験イベントを行っています。見て学んで、伝統芸能を未来へ、世界へつなぐ仲間になろう！

## 03 優先課題で見る沖縄

### 優先課題

# 11

## 地域・年れい・文化などをこえて、広くつながり協力し合う仲間の輪



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
離島へ引っ越してきてふえた人の数	-70人 (2021)	786人 (2023)	増加(2021年 10月~2031年 9月の累計) (2031)	➡
人口がへっている地域へ引っ越してきてふえた人の数	7人 (2021)	342人 (2023)	増加(2021年 10月~2031年 9月の累計) (2031)	➡
「空手は沖縄で生まれた」と知っている沖縄県外の人の割合	36.8% (2021)	29.2% (2024)	76.0% (2031)	➡
スポーツの大会や合宿で使われたお金(消費額)	45億円 (2021)	135億円 (2024)	200億円 (2031)	➡



表から見えてくる、沖縄の現在地

### 離島などの魅力を活かした地域間の交流

沖縄の離島には、地域ごとに魅力があります。その魅力を伝えて、島に移り住む人や、交流人口(旅行などでその地域を訪れる人)・関係人口(その地域に住んでいないが応援してくれる人)をふやすことが大切です。情報発信を続け、世界中に島の大ファンを増やしていきましょう。

### 伝統文化・歴史・行事の世代をこえた発信

沖縄生まれの空手は、今では世界中で愛されています。空手の指導者たちが海外へ教えに行くなど、世界との交流も盛んです。わたしたちの大切な歴史や伝統文化を学び、次の世代や世界へ自信を持って伝えていきましょう。

### スポーツ・文化活動による地域活性化

沖縄ではプロチームの応援やキャンプ誘致など、スポーツで地域を盛り上げています。イベントで沖縄を訪れる人もふえています。みんながスポーツや文化活動に挑戦できるよう、地域全体でささえ、夢を育む環境をつくりましょう。

## 県民アンケートから見る沖縄の現状

1 離島住民が島を誇りに感じている



約 **72%**

2 離島住民の定住の意向がある



約 **62%**

3 県民が文化芸術にふれる機会が増加



約 **35%**

出典 第12回県民意識調査  
(くらしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査  
(くらしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査  
(くらしについてのアンケート)結果



## よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 離島の歴史を学んだり、料理や音楽を楽しもう



2 住んでいる地域の魅力や課題を調べて、発信してみよう



3 沖縄空手の歴史を学び、体験してみよう



## あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

「島まーる」で離島の魅力を体感し、  
困りごとをいっしょに解決しよう

沖縄県地域・離島課

くわしくは  
こちら



特別な体験で、島の「仲間」になりませんか？島の困りごとを地元の人といっしょに解決するボランティアです。協力し、交流することで、観光よりも深い「つながり」が生まれます。あなたの力で、島の未来をささえよう！

世界中に広がる  
空手のふるさと

沖縄空手会館

くわしくは  
こちら



沖縄は「空手の生まれた場所」！世界中があこがる強さのひみつは、平和を大切に作る心にあります。展示や体験を通して、沖縄の宝・空手を見て、学び、感じてみよう！

優先課題

12

沖縄の知恵を生かし、世界の島々と  
協力し合うパートナーシップ



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
国際協力で、海外の研修生を受け入れたグループの数	18団体 (2021)	26団体 (2024)	28団体 (2031)	➔
世界中に住んでいるウチナーンチュとのつながりを強くする活動の数	22件 (2021)	27件 (2024)	56件 (2031)	➔



表から見えてくる、沖縄の現在地

沖縄の技術・経験の共有による国際貢献

沖縄には農業や環境を守るための優れた技術があります。これらを海外の人に伝える活動が進み、沖縄へ学びに来る人もふえています。平和を希求する「沖縄のこころ」を大切に、世界の人と協力して共通の課題を解決していきましょう。

世界とつながり協力し合う社会づくり

かつて多くの人が海外へ渡り、今では約42万人の県系人が世界中で活躍しています。10月30日は「世界のウチナーンチュの日」です。世界中のウチナーンチュ(沖縄出身者やその子孫)とのつながりを大切にし、友好の輪を未来へつなげていきましょう。



## 県民アンケートから見る沖縄の現状

1 沖縄の特性や技術を生かした国際協力・貢献が盛ん



約22%

2 多くの外国人が訪れ、県民との交流が活発



約26%

3 世界のウチナーネットワークなどを生かした国際交流が盛ん



約26%

出典 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果



## よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 沖縄ならではの国際交流・協力について調べてみよう



2 沖縄に住んでいる外国人と交流してみよう



3 沖縄移民・世界のウチナーンチュとのつながりについて調べてみよう



## あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

### JICA沖縄、 世界と出会う場所

JICA沖縄

くわしくは  
こちら



ここは沖縄と世界の助け合いを学べる場所。世界の料理が食べられる食堂やSDGs展示、いろんな地域の民族衣装も着られます。海外の人とふれあえるイベントもいっぱい。新しい発見がきっとみつかる！

### きずな じせだいへ。 絆を次世代へ。 ウチナーネットワークへの招待

ウチナーネットワークコンシェルジュ

くわしくは  
こちら



沖縄出身の人や、海外で暮らす沖縄にゆかりのある仲間たちがつながる大きな輪！それが「ウチナーネットワーク」です。この大切な絆を守り、沖縄の文化を未来へ伝える活動をしています！

## 04 いっしょに取り組む仲間の取組事例

# 沖縄でSDGsを進めるために ～みんなの役割～

沖縄でSDGsの取組を進めるには、様々な立場の人たちが力を合わせる必要があります。企業・団体や自治体、そして県民一人ひとりが「自分にできること」を意識して行動することが大事です。みんなにどんな役割が期待されているのか、そしてどのような取組が行われているのかを、「沖縄県SDGs実施指針」をもとに紹介します。

### 1 | ビジネス・民間組織

- 企業は、経営の考え方や仕事の進め方に、SDGsを取り入れることが大切です。
- 仕事の中でSDGsにつながる工夫をしたり、社会の問題を解決する新たなビジネスを考えたりします。

### 2 | 金融・ファイナンス

- 中小企業を助けるための融資を充実させたり、社会のために活動する団体にお金を届ける仕組みが求められます。
- また、ESG金融にも力を入れていきます。

### 3 | 県民一人ひとりや県民のグループ

- 声を上げられない、上げにくい人たちの声を聞き取り、みんなの活動に反映させるよう橋渡しすることが大切です。
- 海のごみをへらしたり、食べ物をもだにしないよう工夫するなど、県民一人ひとりが、身近な行動を続けていきましょう。

「ユネスコSDGsパスポート」は、ボランティア活動や平和学習、SDGsに関する取組を記録する冊子。小中高生から社会人まで利用でき、ポイントをためて認定証を取得することができます（沖縄県ユネスコ協会）



### 4 | 女性

- 女性が教育や仕事などに公平に参加できることが大切です。
- 女性が話し合いの場に参加すると、女性はもちろん、お年寄りや子ども、障がいのある人、LGBTQなど、色んな人たちの意見を取り入れやすくなります。
- ジェンダーを問わず、みんなが平等に活躍できる社会を目指しましょう。

### 5 | 子ども・若者

- SDGsの達成期限の2030年以降の社会をささえる若者が、SDGsについて考え、意見を言うことが大切です。
- 若者が意見を言える場をつくり、企業や団体といっしょにSDGsを進めていきましょう。

「SDGs全国フォーラム2024沖縄」で、県内高校生・大学生が2030年に向けた力強いメッセージを発信（沖縄県）



### 6 | 教育機関

- SDGsを学ぶ授業に、力を入れていきます。子どもたちに分かりやすい教材や、先生向けの研修を充実させます。
- 地域や企業と協力しながら、子どもたちにSDGsを教えています。



県内SDGs指定校の学生と、長野県の学生とのオンライン交流会（沖縄県）

## 7 | 研究機関

- SDGsを知るのに役立つデータを集めて分析したり、科学の力で課題を解決する方法を探します。

## 8 | 文化・芸術やスポーツを広める人

- 沖縄ならではの言葉や伝統芸能、スポーツなどを活かして、沖縄の心を未来に伝えることが大切です。



2025大阪・関西万博での、沖縄の伝統文化のステージ

## 9 | マスメディア

- 社会の問題を分かりやすく伝え、声を上げられない、上げにくい人たちの思いもすくい上げます。
- 色んな団体と協力して情報を発信します。

## 11 | 議会

- 住民の声をよく聞き、課題を解決するための政策を話し合う、大切な場です。SDGsの考え方を取り入れることが求められます。

## 10 | 市町村

- それぞれの地域に合ったやり方で、SDGsの取組を進めます。沖縄県と市町村で情報を共有して協力します。
- 地域団体や企業、住民と協力しながら、SDGsの取組を広げていきます。



「世界ーサンゴと人にやさしい村」を目指し、サンゴ礁を守る活動・赤土流出対策などを進める(恩納村)

## 12 | 観光客

- 観光で沖縄に来る人たちへ、沖縄でSDGsの取組を進めることの大切さを知ってもらったり、SDGsの取組をいっしょに進めたいと思ってもらうことが大切です。

## 13 | 世界のウチナーンチュ(ウチナーネットワーク)

- 沖縄出身の人やその子孫を「ウチナーンチュ」と言います。海外に住むウチナーンチュも多く、世界に約42万人いると言われています。
- このつながり(ウチナーネットワーク)を大切に、交流を深めながら、いっしょに沖縄の発展を目指しましょう。



世界各国のウチナーンチュが沖縄に集まり、県民との交流を深めるイベント「世界のウチナーンチュ大会」

沖縄県が目指すサステナブルツーリズムのあり方(概念図)



沖縄でSDGsの取組を進めるために、県民・企業・観光客が何をしていくかを定めた「沖縄サステナブルツーリズム宣言」(沖縄県)

三万良しを目指す「世界から訪れる持続可能な観光地」

## 平和に関する取組



### 1 平和を学ぶ

#### ■ 沖縄県平和祈念資料館

住民が体験した沖縄戦の様子や、戦争が終わって平和を目指す沖縄の人たちの姿を映像や模型を使い描くことで、戦争の恐ろしさや平和の尊さを訴えています。また、戦後80年がたち、戦争体験者がへっている中、沖縄戦の実相と教訓を次世代へつなぐため、沖縄戦の語り継ぎ手の養成に取り組んでいます。



左:平和祈念公園 右:常設展示室 沖縄戦の証言

#### 参加者の声

沖縄戦を多様な視点で学ぶことができました。歴史的な背景・平和資料館の活用、ワークショップなど多様な学びを通して沖縄戦を伝えられる語り手としてがんばりたいです。

くわしくは  
こちら



#### ■ 平和の礎

沖縄戦が終わって50年目の1995(平成7)年、沖縄県民の平和を求める心を広くアピールし、世界平和に役立つことを願ってつくられました。

波のように連なる刻銘版には、世界の平和を願い、沖縄戦などで亡くなった約24万人の氏名が刻まれています。

くわしくは  
こちら



刻銘版

### 2 沖縄の歴史を次世代へつなぐ

#### ■ 担い手の育成

国際協力や平和発信に関わる人材を育成するために、県内の大学生を国際協力NGOの活動現場へ派遣する機会をあたえています。

研修先で  
行う様子



#### ■ 「平和への思い」発信・交流・継承

平和構築のためのネットワークづくりと人材育成を目的に、相互理解を深めるための共同学習に取り組んでいます。

くわしくは  
こちら



シンポジウム  
「あしたのアジア」



# 文化に関する取組



## 1 | 琉球歴史文化の日

りゅうきゅう

沖縄県では、先人たちがつくりあげてきた沖縄の歴史と文化への理解を深め、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会を形作ることも、新たな歴史と文化を自らの手でつくりだすことを目指すため、2021年から11月1日を「琉球歴史文化の日」と決めました。琉球歴史文化の日は、祖先(ウヤファーフジ)への敬意、自然への畏敬の念、他者の痛みによりそうチムグクルを育む日として広く知ってもらえるよう取り組みます。



琉球歴史文化の日  
シンボルマーク

### | 具体的な取組 |

- 琉球歴史文化の日の記念イベント  
毎年11月1日に県内劇場で学生無料の伝統芸能の公演を行う
- 琉球歴史文化の日関連ワークショップ  
児童生徒を対象に、伝統芸能の鑑賞教室を学校で行う



琉球歴史文化の日記念イベントで披露された伝統芸能の様子

### 参加者の声

くみおどり  
組踊はテレビで少し見たことがある程度だったので、やっぱり自分の目で直接見るのは迫力がちがうし、物語の世界に入りこめるので良いなと思いました。

くわしくは  
こちら

## 2 | しまくとぅば学童学習の取組

沖縄文化の土台である「しまくとぅば」が失われると、沖縄の組踊や琉球舞踊なども衰退するとともに、県民の郷土愛も失われ、結果的に沖縄文化の衰退へとつながることが心配されます。この取組では、学童保育に通う小学生とその家族、そして地域コミュニティのしまくとぅばに対する関心を高めることを目的に、しまくとぅばの学習やワークショップイベントを行います。

しまくとぅば講座の様子



### | 具体的な取組 |

- しまくとぅば講座
- しまくとぅばワークショップ
- しまくとぅば絵本の読み聞かせ
- しまくとぅば発表会



くわしくは  
こちら

# あなたが考える理想の沖縄は どんなまちですか？

「理想の沖縄」「理想の自分」を想像し、  
思いついたアイデア・イラストを空いているスペースに  
描いてみましょう！

マンガロープの森



八重山圏域



イリオモテヤマネコ



【03 優先課題で見る沖縄】で気になった優先課題について、「現状の課題」

優先課題



どんな課題があるだろう？



課題を解決するための  
アクションを考えてみよう！

# わたしが考える理想の沖縄は・・・



## 理想の沖縄を考えるヒント

- 自然を守る沖縄ってどんな姿すがただろう？
- 文化を大切にすままちってどんなまち？
- 観光と環境は両立できるのかな？

です

伊良部大橋  
いりふおほはし



やんばるの森

北部圏域



ヤンバルクイナ

宮古圏域

首里城  
すいりじょう



中南部圏域

パーントウ



エイサー  
旗頭  
はたかぶり



と「課題を解決するためのアクション」を考えてみよう！

優先課題

どんな課題があるだろう？



課題を解決するための  
アクションを考えてみよう！

## もっと沖縄県のSDGsを知りたい人へ

### おきなわSDGs プラットフォーム

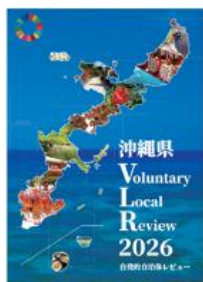
#### おきなわSDGsプラットフォーム

「おきなわSDGsプラットフォーム」は、沖縄県内においてSDGsに関連する活動に取り組んでいる、または関心を持っている人たちが「情報共有」や「交流・協力」を行う場です。



#### 沖縄県SDGsモニタリング報告書 ほうこくしょ

沖縄県では、県内のSDGsに関する取組の進み具合を定期的にチェックすることを目的に「沖縄県SDGsモニタリング報告書」を作成しています。



#### 沖縄県VLR (自発的自治体レビュー)

沖縄県では、県内のSDGsに関する取組の進み具合を評価し、その結果をまとめたレポート「VLR(Voluntary Local Review, 自発的自治体レビュー)」を国際連合へ提出・公開しています。



#### おきなわSDGsのとびら

沖縄県教育委員会では、持続可能な社会の実現を目指してSDGsやESDなどの理解を深めていくために、各学校や関係機関において活用いただける資料を作成しています。



# SDGs用語集

ESG金融	環境や社会に良いことをする会社を応援するために、お金を出す仕組み。	国際物流特区	外国とのやりとりをやすくするため、特別なルールで物を運べる地域。
ICT (デジタル)	コンピューターやインターネットを使って、生活や仕事を便利にする技術。	国際連合／国連	世界の国が集まり、世界の平和のために活動する団体。
JICA (独立行政法人国際協力機構)	日本が、世界の困っている国を助けたり、生活を良くする手伝いをする団体。	生涯学習	大人になっても、ずっと学び続けること。
LGBTQ	いろいろな性や性別の考え方があることを表す言葉。	持続可能な開発目標	地球や人がずっと安心してくらすために、世界で決めた17の目標。
NGO	お金をもうけるためではなく、困っている人のために海外で活動している団体。	相互理解	おたがいの考えや立場のちがいを知り、分かろうとすること。
NPO法人／NPO	お金をもうけるためではなく、困っている人のために国内で活動している団体。	ダイバーシティ	年れい・性別・文化などのちがいを大切に、力を合わせることに。
一般社団法人	社会のための活動をする団体。	脱炭素	二酸化炭素などをふやさないように、出す量をへらすこと。
インターン	学生などが、会社で短い期間働いて、仕事を体験すること。	地産地消	地元で生産された食材を、地元で買ったり食べたりすること。
外来種	もともといなかった地域に、つれてこられたり、やってきた生き物。	融資	銀行などが、お金を必要な人や会社に貸すこと。
行政	国や都道府県・市区町村が、みんなの生活を良くするために行う仕事やサービス。	ユネスコ(国連教育科学文化機関)	世界の国が集まり、教育・科学・文化などを守り広げるために活動する団体。
クリーンエネルギー	太陽光・風・水などの自然の力を使って、地球をよごしにくい方法でつくる電気や熱。	ローリングストック	ふだんから食べ物をもめに買っておき、食べた分だけ買い足して、災害に備える方法。
公益財団法人	集めたお金を使って、みんなの役に立つ活動をささえる団体。		



わたしたちがつくる

# 美ら島の明日

沖縄らしい

SDGs アクションガイド

